

市町村社会福祉協議会

社協版BCP

策定基礎研修

新型コロナウイルスや能登半島地震など、近年社協活動に大きな影響を及ぼす災害等が多発しています。そうした緊急時においても、**社会福祉協議会の使命**として地域住民への生活支援等は継続する必要があり、その基盤となる社協運営を維持することも求められます。

そこで、本研修では、社会福祉協議会向けのBCPの基本的な考え方や策定の必要性、意義について学び、緊急時においても、**社協の規模に関わらず**、社協活動を**維持し**、**地域を支えられる**よう、平時からいかに体制等を整えるのかを考える機会として本研修を開催します。

日時

7/25(金)
10:00～12:00

会場

**倉吉福祉センター
大会議室**
(倉吉市福吉町1400番地)

対象

市町村社協役職員

備考

定員50名
オンライン併催

内容

講義「社協版BCPの必要性や意義について」

講師

一般社団法人FEEL Do 代表
一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン 代表理事
栗原 英文 氏



一般社団法人FEEL Do 代表

一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン 代表理事

栞原 英文 氏

福岡県北九州市出身・大阪府大阪市在住。東京農業大学農学部国際農業開発学科卒。1964年生まれ。

国際NGOのフィールドワーカーとして東南・南アジアの農村で民衆の力で自分たちの社会を変えていくコミュニティ・オーガナイズを行う。阪神・淡路大震災の支援活動に参加した後、兵庫県社会福祉協議会に入社。ボランティア・市民活動センターで、震災復興ボランティア活動支援や災害時福祉支援活動の推進、企業の社会貢献活動の推進、福祉学習推進、ボランティア・コーディネーター養成等を担当。

2002年にNGOを設立し、長年フィリピン農村の経済的貧困層や山岳部のしょうがい児・者の自立支援活動に取り組み、2011年より、一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン（C4C）代表理事として、東南アジアや日本国内の現地NGO/NPOと連携し、子どもたちの健全な成長を支えるコミュニティづくりを進めている。

2003年様々な主体が取り組む福祉コミュニティづくりを応援するコミュニティ・エンパワメント・オフィスFEEL Doを設立。2021年FEEL Doを法人化し代表理事に就任。

大阪府・滋賀県・愛媛県・大阪府阪南市・大阪府大東市・三重県四日市市・愛媛県今治市の各社会福祉協議会の事業アドバイザーなど務める。

申込

下記URLもしくはQRコードよりお申込みください

<https://forms.gle/QC8SZDqPG6dtEBia8>

〆切 7/18(金)

※本研修は感染症等の状況により、開催方法の変更や中止等
となることがありますので御了承ください。



お問い合わせ先

〒689-0201

鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター内

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会地域福祉部

地域福祉・パーソナルサポート担当：中田・秋本玲

電話 0857-59-6332 FAX 0857-59-6340

メール chiiki@tottori-wel.or.jp

